

事業区分	文化芸術事業		育成創造事業											
事業名	高校演劇ワークショップ		助成											
目的・内容	<p>高校演劇部新入部員に対し、専門家(俳優)から演劇を学ぶ場を提供する。演劇の基本「価値観の違う相手を受け入れる」ことをゲームを通じて実感させ、演劇とは、台詞を覚えて言うだけでなく、仲間と共に創り上げる事を伝える。</p> <p>次に、高校演劇県大会出場校6校に模擬上演をして頂き、それに対し専門家(俳優)から具体的な演技指導を受ける場を提供する。創造過程で生じた疑問や不具合点を具体的にし、次回公演に反映する。それを他校の生徒や一般が見学する事で、更に多くの方に演劇創造の方法を伝える。</p> <p>【使命】「文化人口の拡大とレベルアップ」、「多彩な人材育成とキャリア開発」、「子どもの文化芸術活動の推進」</p> <p>【事業の柱】「学校との連携による子どもや青少年のための文化芸術体験活動の充実」、「鑑賞公演の多様化と鑑賞公演とワークショップを連動させた事業の展開」、「人材育成のための機会の提供と各種研修制度の充実」</p>													
開催日時／会場	<p>①平成20年5月10日(土)10:00～17:00 米子市文化ホール イベントホール</p> <p>②平成20年5月11日(日)10:00～17:00 米子市文化ホール イベントホール</p> <p>③平成20年5月17日(土)10:00～17:00 鳥取県民文化会館 リハーサル室</p> <p>④平成20年5月18日(日)10:00～17:00 倉吉未来中心 リハーサル室</p> <p>⑤平成20年8月 4日(月) 9:00～12:00 米子西高等学校</p> <p>⑥平成20年8月 4日(月)13:30～16:30 米子高等学校</p> <p>⑦平成20年8月 5日(火) 8:30～11:30 倉吉東高等学校</p> <p>⑧平成20年8月 5日(火)13:30～16:30 鳥取東高等学校</p> <p>⑨平成20年8月 6日(水) 9:00～12:00 鳥取敬愛高等学校</p> <p>⑩平成20年8月 6日(水)13:00～16:30 八頭高等学校</p>													
入場料・参加費 (友の会)	無料													
集客状況	<p>参加者数</p> <table border="0"> <tr> <td>①高校生23名、顧問2名 合計25名</td> <td>⑥高校生14名、顧問1名、一般1名 合計16名</td> </tr> <tr> <td>②高校生13名、顧問2名、一般2名 合計17名</td> <td>⑦高校生8名、顧問1名 合計9名</td> </tr> <tr> <td>③高校生22名、顧問3名 合計25名</td> <td>⑧高校生7名、顧問2名、一般2名 合計11名</td> </tr> <tr> <td>④高校生20名、顧問2名 合計22名</td> <td>⑨高校生8名、顧問1名 合計9名</td> </tr> <tr> <td>⑤高校生15名、顧問2名 合計17名</td> <td>⑩高校生13名、顧問1名、一般1名 合計15名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">延べ 166名</p>				①高校生23名、顧問2名 合計25名	⑥高校生14名、顧問1名、一般1名 合計16名	②高校生13名、顧問2名、一般2名 合計17名	⑦高校生8名、顧問1名 合計9名	③高校生22名、顧問3名 合計25名	⑧高校生7名、顧問2名、一般2名 合計11名	④高校生20名、顧問2名 合計22名	⑨高校生8名、顧問1名 合計9名	⑤高校生15名、顧問2名 合計17名	⑩高校生13名、顧問1名、一般1名 合計15名
①高校生23名、顧問2名 合計25名	⑥高校生14名、顧問1名、一般1名 合計16名													
②高校生13名、顧問2名、一般2名 合計17名	⑦高校生8名、顧問1名 合計9名													
③高校生22名、顧問3名 合計25名	⑧高校生7名、顧問2名、一般2名 合計11名													
④高校生20名、顧問2名 合計22名	⑨高校生8名、顧問1名 合計9名													
⑤高校生15名、顧問2名 合計17名	⑩高校生13名、顧問1名、一般1名 合計15名													
事業費状況	予算額	収入 0円	支出 702,000円	収支比率 0%										
	決算額	収入 0円	支出 675,965円	収支比率 0%										
参加者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・台詞と動きが大切だと思っていたが、相手との関係や、行動、考えも大切だという事に気付いた。 ・今は分からないけど、後の部活動で、「そうか」と気付くかもしれない。 ・楽しかった。 ・人へ与える印象やテンポ、動きの大きさについてよく分かった。 ・新しい意見を頂いて、どういうふうによければいいのかの参考になった。 ・真剣に考えてコメントをくださったので、嬉しかった。 													
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に、過去の状況を基に内容を講師と詰めていった為、高校演劇のニーズにマッチした内容となった。 ・高校生に理解しやすいよう、ポイントを絞った指導をして頂いた為、高校生にとって納得感の高いワークショップとなった。 ・高校生の不安を取り除く為にも、顧問だけでなく、生徒に直接事業趣旨の説明を行った。結果、当日は運営を高校生に任せられ、質問も多く上がり、積極的に参加して頂くことが出来た。 ・毎年、顧問会では事業趣旨を説明しているが、その継続が顧問との連携や理解の深さにつながっている。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容は充実しているが、高校演劇への関心が薄いのと同様、多くの方の関心は得ていない。 ・高校演劇自体への関心を深めて頂く取り組みも必要。 ・このまま、主催者から事業提案を続けていく事が良いことなのか、検証が必要。 													
財団評議員の 評価	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属の違う同世代の高校生が、相手を受け入れることを身をもって体験できたのはこれからの演劇活動の面、人材育成の面から効果があった。 ・ワークショップを通じて意識向上が図られており、現時点での若手鑑賞人口の増加には寄与している。 ・ワークショップを単体の事業としてとらえてしまうことなく、財団の担当者が各地区の高校演劇大会に足を運んで鑑賞していることは、ワークショップに向けた活動としても、地域の高校演劇の現状(レベルや課題)を財団が把握する意味でも良いことだと思う。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理想としては良いが、現実問題として、県外に出て行く高校生が多い中、将来、鳥取県の演劇活性化のための貴重な人材となりうるかどうかは未知数。 ・現在は演技ワークショップだが、照明や音響などのワークショップをからめていき、高校生の総合的な演劇力向上につながる方向に発展させるほうがよい。 													
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・高校演劇の発表会に一般審査員(ボランティア)などを置き、関心を持ってもらう等、新たな方策を検討していく。 ・高校生が外部の演劇にも係わるような取り組みも検討していく。 ・ワークショップの内容など、今後の事業展開について検討する。 													